

【coagari 学習会】「話そう、考えよう、自分らしい未来のを見つけ方 cafe」を開催しました！

令和7年12月9日（火）、岐阜大学社会システム経営学環「地域ラボ・中津川」と連携し、「話そう、考えよう、自分らしい未来のを見つけ方 cafe」を開催しました。中学生から大学生まで7人が参加し、さまざまな働き方の選択肢や、自分自身が大切にしている価値観などについて考えました。

「地域ラボ・中津川」特任准教授の水野輝彦さんと、支援員2人が講師を務めました。水野さんは、「会社員」や「フリーランス」、「起業」、1人で複数の仕事を行う「複業」など、いろいろな働き方の特徴やメリットなどを紹介し、「正解は一つじゃない。途中で変えても良い」と呼びかけました。また支援員の2人もそれぞれ複数の仕事を経験しており、「自分がどうありたいか、どう過ごしていきたいかを大事にほしい」と語りました。

後半のワークショップでは、「ライフラインチャート」という自己分析ツールを用い、これまでに経験した出来事やその時の感情などを振り返りました。3～4人のグループに分かれての交流では、お菓子と飲み物を囲んだざっくばらんな雰囲気の中で、活発な対話が生まれました。見学に訪れていた社会人も各グループに加わり、高校生が大人に「どうやって進路を決めたか」と積極的に質問する姿も見られました。

将来の目標が決まっていない参加者も多くいましたが、地域で活躍する大人の話を聞く中で、自分らしい将来をどう描くかについて考えるきっかけとなりました。

参加者からは「色々な背景を持った人との対話を通して、自分の今後のキャリアを見据えることができた」、「出身が長崎や愛媛の大人もいて、中津川市には地方とはいえ色々な地域の人が集まっていることがわかった」などの感想がありました。

